

糖尿病・内分泌内科

【研修目標】

科ごとの到達目標 GIO :

糖尿病、内分泌、代謝疾患の初期治療、管理を行うために病態を理解し、受診者のニーズを考慮した治療法を適用し、チーム医療ができる。

糖尿病、内分泌疾患の緊急症の治療を行うために病態を把握し、適切な治療法を選択出来る。

行動目標 SBOs :

- 1) 家族歴、嗜好歴、生活習慣、過去の治療歴、随伴症状の有無、内容などを要領よく聴取できる。(技能)
- 2) 受診者及びその家族に現在の症状と受診者のニーズに配慮した治療計画を説明することができる。(態度)
- 3) 糖尿病の病型、病期について説明ができる。(想起)
- 4) 受診者の病型、病期を判断できる。(解釈)
- 5) 糖尿病及び合併症に関する身体所見について説明ができる。(想起)
- 6) 糖尿病及び合併症に関する身体所見を診察できる。(技能)
- 7) 2型糖尿病に合併する肥満、脂質異常症、高尿酸血症などの病態について説明できる。(想起)
- 8) 特殊な病型による糖尿病を疑うべき所見を説明できる。(想起)
- 9) 動脈硬化性疾患のリスクについて評価できる。(解釈)
- 10) 甲状腺機能異常の身体所見について説明ができる。(想起)
- 11) 甲状腺の触診ができる。(技能)
- 12) 経口ブドウ糖負荷試験の適応が説明できる。(想起)
- 13) 経口ブドウ糖負荷試験の結果を評価できる。(解釈)
- 14) HbA1c とグリコアルブミンについて意義の違いも含め説明ができる。(想起)
- 15) HbA1c とグリコアルブミン結果を評価できる。(解釈)
- 16) 糖尿病合併症の評価に必要な所見、検査について説明できる。(想起)
- 17) 糖尿病合併症の重症度を判断できる (解釈)
- 18) FT3、FT4、TSH についての結果を評価できる。(解釈)
- 19) 糖尿病の食事、運動療法の概略について説明できる。(想起)
- 20) 糖尿病の食事、運動療法について上級医と共に患者の生活に配慮した適切な指示、指導ができる。(問題解決)
- 21) 糖尿病のインスリン療法の適応となる病状について説明できる。(想起)
- 22) 糖尿病治療中の低血糖症状について説明ができる。(想起)
- 23) 糖尿病治療中の低血糖症状に対して的確な対処ができる。(問題解決)

- 24) 高脂血症の食事療法、運動療法について説明できる。(想起)
- 25) 高脂血症の適切な薬物を選択でき、患者指導ができる。(問題解決)
- 26) 高尿酸血症の病型に即した薬物療法、患者指導ができる。(問題解決)
- 27) 低血糖の主な原因につき説明できる。(想起)
- 28) 高血糖高浸透圧症候群、糖尿病性ケトアシドーシスの病態が説明できる。(想起)
- 29) 高血糖高浸透圧症候群、糖尿病性ケトアシドーシスの診断に必要な検査を実施でき、初期治療が迅速にできる。(問題解決)
- 30) 副腎不全を疑う所見について説明できる。(想起)
- 31) 副腎不全の診断に必要な状況に応じた検査を選択できる。(問題解決)
- 32) 副腎クリーゼを疑う所見について説明できる。(想起)
- 33) 上級医とともに副腎クリーゼの初期治療が行うことができる。(問題解決)
- 34) 甲状腺クリーゼを疑う所見について説明できる。(想起)

【研修方略】

研修期間：1年次4週間、2年次選択

研修内容：

- 1) 一般外来、救急外来から入院する糖尿病・内分泌の症例を、担当医として受け持つ。
- 2) 糖尿病教室に参加して、生活習慣病の集団指導方法について学ぶ。
- 3) 指導医の下で甲状腺エコーを実施する。
- 4) 指導医の下で、甲状腺エコー下での穿刺細胞診の実施（3週目以降）。
- 5) 症例検討会で担当患者のプレゼンテーションを行い、治療方針について指導医とともに検討する。
- 6) 糖尿病教育支援チームミーティングに参加して、チーム医療における医師の役割、他職種のスタッフとチームとしての患者教育を行うことを学ぶ。
- 7) 他疾患（周術期を含む）で入院した糖尿病症例において、上級医の指導のもとに血糖管理を行う。
- 8) 1年次はローテーション研修中の最終週に糖尿病・内分泌領域で興味ある分野や疾患についてまとめ、上級医の指導の下スライドを用いて発表する。
- 9) 2年次はローテーション研修中に糖尿病・内分泌領域で興味ある分野や疾患について、1編英文論文を読み抄読会で発表する

週間スケジュール：

	月	火	水	木	金
午前					
午後	糖尿病 教室参加	NST 回診 甲状腺 US 穿刺	糖尿病 教室参加	糖尿病 教室参加	NST 回診 甲状腺 US 穿刺
夕刻		抄読会 (ローテート研 修中 1 回)	カンファレンス	栄養療法講義 甲状腺疾患マネ ジメント講義	
			スライド発表(研 修最終週)		

* 上記以外の時間帯は担当患者回診に充てる。適宜上級医とともに外来初診患者診察あり。

作成必須レポート：

- 1) 糖尿病

【研修評価】

SB0s	領域	目的	方法	測定者	時期
1	技能	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテート中
2	態度	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテート中
3	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
4	解釈	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
5	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
6	技能	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテート中
7	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
8	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
9	解釈	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
10	想起	形成的	観察記録	上級医・指導医	カンファレンス時
11	技能	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテート中
12	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
13	解釈	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
14	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
15	解釈	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
16	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
17	解釈	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時

18	解釈	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
19	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
20	問題解決	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテート中
21	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
22	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
23	問題解決	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテート中
24	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
25	問題解決	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテート中
26	問題解決	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテート中
27	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
28	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
29	問題解決	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテート中
30	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
31	問題解決	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテート中
32	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
33	問題解決	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテート中
34	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時